

令和 2 年 9 月 4 日

大型公共施設建設調査特別委員会

市民部スポーツ振興課

四ツ池公園運動施設について

- 1 四ツ池公園運動施設（陸上競技場）の整備方針について … 資料 1

参考資料 陸上競技場レイアウト検討

四ツ池公園運動施設(陸上競技場)の整備方針について

1 上位計画における公共施設の考え方

(1) 浜松市未来ビジョン 第1次推進プラン

10年後の目標（政策の柱）

◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

— 未来に挑戦する取り組み —

文化施設や生涯学習施設、スポーツ施設などでは、機能を充実するとともに、民間も含めた施設の複合化を進めるなど、利用者の利便性の向上に取り組みます。

(2) 浜松市公共施設等総合管理計画(平成28年度～令和6年度)

利用者の圏域などを踏まえたハコモノ資産の見直し

広域施設（四ツ池公園陸上競技場など）

【定義】

文化・スポーツ・産業振興施設などで、市内だけでなく国内・外からの集客を目的とした～（略）～ シンボリックな施設

(3) 第2期浜松市スポーツ推進計画(平成31年度～令和6年度)

スポーツ施設の役割・機能に応じた整備方針

効果・効率（施設規模・役割に対応した整備）

・広域施設（拠点施設）については、全国大会や国際大会などの開催を視野に入れた、機能向上を図ります。

・スポーツの利用にとどまることなく、民間活力による多様な機能を併せ持つ、質の高い市民サービスが提供できる整備を検討します。

2 四ツ池公園陸上競技場のコンセプトイメージ案

**ランナーもランナーじゃなくてもワクワクする陸上競技場。
スタジアムが都市に賑わいと活力を与える。**

視点① あくまで陸上競技をメインとしたトラック・フィールド

- ✓ NEW レコードが記録される第2種以上の公認陸上競技場
- ✓ スロー再生できる大型ビジョンや新しい生活様式に合わせた映像配信設備などデジタル機材が充実している
- ✓ 投てき専用施設や室内練習場、パラ競技に対応した設備など多様な競技者の利用に配慮が行き届いている
- ✓ サブトラックが充実していて、補修期間も絶えず練習や大会が行われている
- ✓ 中高生をはじめとした地域の競技者が高みを目指して練習している

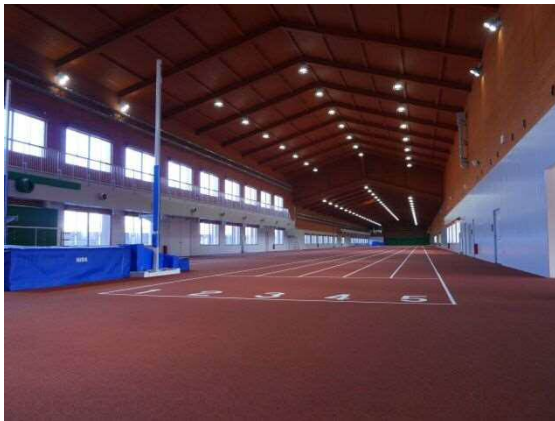
視点② イベントが開かれていなくても、人が集まる運動公園

- ✓ スポーツショップやトレーニングジム、カフェ、コンビニなどの民間機能が併設されている
- ✓ 木と木の間をくぐるウォーキングコースやホッと一息つける広場が整備され、ランナーじゃなくても多くの人に利用されている

視点③ にぎわいをつくり、都市に活力を与えるスタジアム

- ✓ 陸上競技をメインとしながらも、フィールドではサッカーやラグビーの試合が行われている
- ✓ 大規模な観客席を活用し、スポーツだけでなく、文化イベントに活用されている
- ✓ 新たなスタジアムの整備により、人の流れと街並みが変わり、周辺のインフラ整備が進んでいる

参考 併設機能のイメージ



ジャパンアスリート
トレーニングセンター大隅(鹿児島県)
←室内競技場



トレーニング室

投てき練習場



相模原ギオンスタジアム
ウッドチップコース(相模原市)





浜松城公園内のカフェ(浜松市)

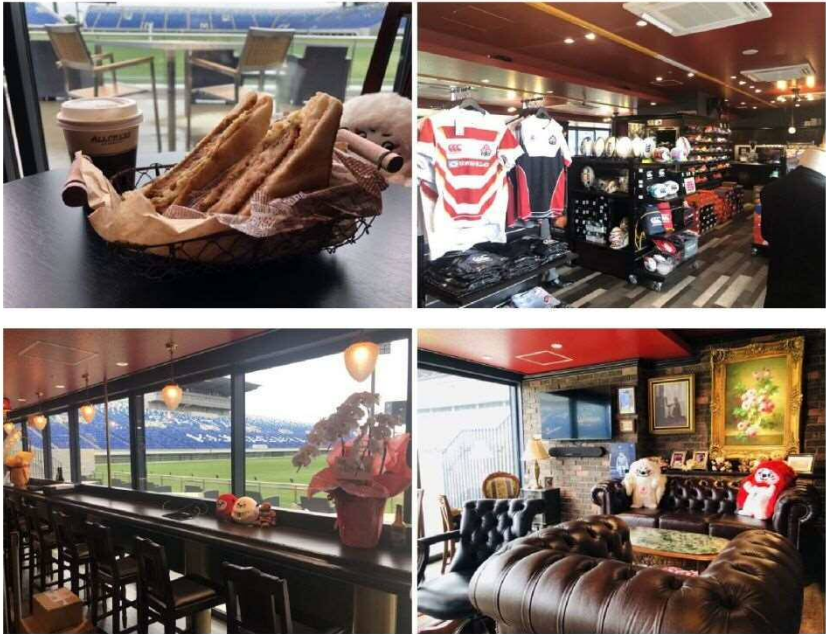
南池袋公園(東京都)
※芝生広場



熊谷ラグビー場

※ラグビー場に常設したカフェとバーを備えたラグビーショップ

※埼玉県HPより



日産スタジアム内にあるプール(横浜市)

※施設HPより



日産スタジアム(横浜市)までの
広いコンコース

※施設HPより

陸上競技場レイアウト検討

駐車場(想定)
約9,000㎡(約360台)

駐車場(既存)
800㎡(約30台)

メイン陸上競技場
・長良川陸上競技場(約3.6ha)を仮定
・屋内練習場、トレーニング室、民間機能(ショップ・カフェ)の併設を検討

サブ陸上競技場
・現四ツ池公園陸上競技場(約2.9ha)を仮定
・ダウンサイジングによる規模縮小を検討

・トレーニングエリア
・憩いのエリア
など

駐車場(想定)
約2,000㎡(約80台)

